

第15回 にぎわい創出検討部会

令和4年12月22日(木) 16:00～

ポスティビルド3階研修室

出席者 部会長 + 部会委員 7名

今回のWSの目的は？

ウォークアブル、即ち「居心地が良く歩きたくなる」まちをつくるためには、常盤通りだけで完結することはできない。雰囲気の良い通りをつくることは勿論のこと、エリア全体に魅力のある目的地を増やしていく必要がある。

真締川 + 新庁舎広場 + 井筒屋跡地 + 琴芝街区公園 + 商店街等の地域特性を読み取り、それに沿ったエリア別のビジョンと方針を踏まえ、沿道建築(民間、公共)との関係を考える。

第15回となる本会では、11月12日から12月11日の一ヶ月の間、常盤通りで開催された社会実験「TokiwaikoT2」の結果の簡単な中間報告も含めて、今後の常盤通りの自転車の通行における空間整備・空間の管理運営検討の手法を2つの班に分かれて議論した。

今回のWSの議題

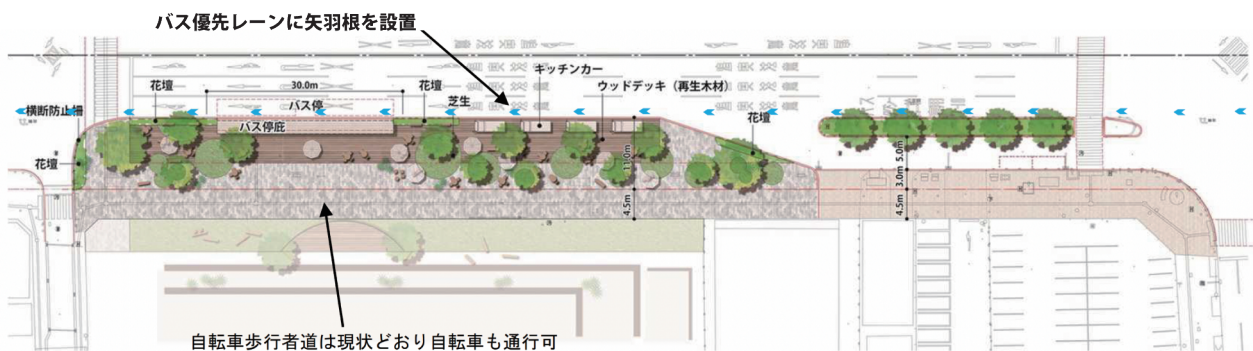
空間の管理運営・検討の手法
自転車導線の空間整備の検討
社会実験の中間報告

01 空間の管理運営検討の手法

今後、「ウォーカブル推進協議会」と「にぎわい創出検討部会」が空間の管理運営検討をどのように行っていくかを議論した。

02 自転車導線の空間整備の検討

「宇部市自転車活用推進計画」を背景に歩行者と自転車の安全な通行を考え、「自転車歩行者道」に位置づけられる常盤通りに今後どのように自転車の導線を設けていくのか？と議題のもと、下記に示す「バス優先レーンへの矢羽根案」に部会メンバーの意見を求めた。



【「矢羽根」設置により見込める効果】

- ・車の運転手に自転車への注意喚起を促すことで、**自転車の車道通行の安全性を確保する。**
- ・自転車の通行を車道に促すことで、**広域的に利用する自転車交通を歩行者空間と分離する。**

03 社会実験の中間報告

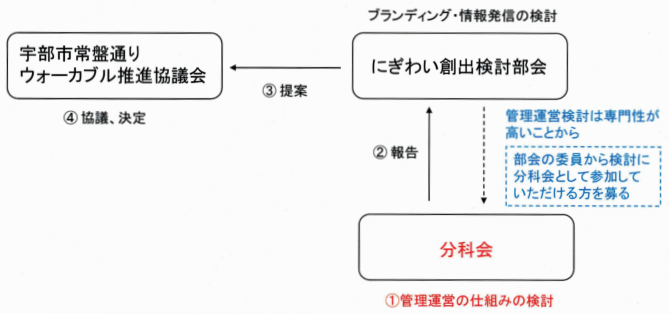
今回の社会実験の通行量や空間の満足度調査に関する簡単な報告を行った。

- ・ 利用者の滞在時間
- ・ バス待ち空間の利用に関する満足度
- ・ 空間要素及び場所に関する満足度
- ・ 横断歩道空間満足度
- ・ 周辺駐車場利用状況

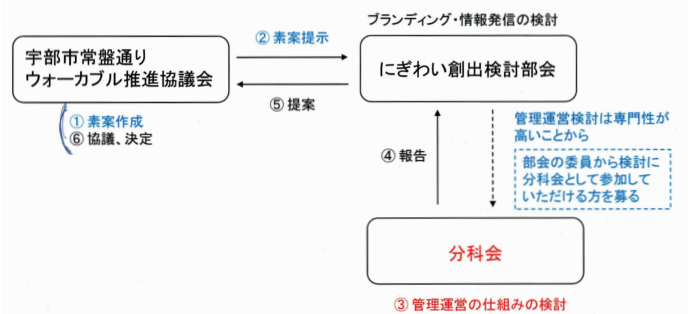
空間の管理運営検討の手法

案①・②・③の中で、主に②と③のどちらかがいいのではないかと議論になった。

案② 分科会設置案



案③ 協議会素案作成+分科会設置案



1 班

案②は、ボトムアップ的な体制になるので、実際に活動される人の課題や意見を反映しやすくいいのではないかと？

学生の連携、意見が通りやすいし、組織や提案に入りやすい。何より、学生は経験を積める？

2 班

案③では、行政が主に携わっている 指定管理などの対応には、分科会ではわからない指定管理ならではのルールやベースを提示してもらうことができ良さそう。→ ある程度、素案はほしい。

行政の方が、にぎわい検討創出部会テーブルに付いてもらうのが必要なのかな？

「ときわいこっと」を通して、専門性が高い人が必要

この分科会はその専門性の高い人が加入してもらう→ 課題を専門的に管理してもらう

社会実験や実施の段階で生じる課題やリスクを洗い出して→ 専門家によって解決する

議題

2

自転車導線の空間整備の検討

1 班

- ・3車線の一つを自転車専用にしてもいいのではないかと、将来的に考えるともっと自転車が利用しやすいようにすべきではないか？
- ・矢羽根を作っても、通行しないのではないかと？
- ・交通量調査などで必要車線数の妥当性の確認などすべきだと思う！！

2 班

車道と自転車道の間には白線を設けるのがいいのでは？ 自転車道の幅員は2m以上必要と思う。

議題

3

社会実験の中間報告

内容に関する部会メンバーからの意見



近隣店舗（まるきやタニタカフェ）に経済的効果があったか調べたい！

ヒアリングなど全体の情報を示してほしい、アンケート調査対象者をもっと詳しくするべき



社会実験に対する、課題点や意見だけの共有ではなくどのように今後していけばいいのかを整理して行っていく必要があると思う。